

第5回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

| | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | 開催日時 | 令和5年5月23日(火) |
| 2 | 開催場所 | 磐田市役所西庁舎 3階 301~303 会議室 |
| 3 | 出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員) | |
| | 学識経験者 | 元校長 前向笠地区長 |
| | 地区代表 | 向笠地区長 大藤地区長 岩田地区長 |
| | 保護者代表 | 向陽中学校PTA代表者 向笠小学校PTA代表者 大藤小学校PTA代表者 岩田小学校PTA代表者 大藤こども園PTA代表者 向笠幼稚園PTA代表者 |
| | 学校代表 | 向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長 |
| 4 | 出席職員 | 教育長 教育総務課長 |
| 5 | 事務局 | 学府一体校推進室 |

会議概要

1 委嘱状交付と自己紹介

今年度より向陽学府小中一体校開校準備委員会委員となった方へ委嘱状を交付(代表大藤地区長)。その他の委員については、個別に配布。

名簿順に各自自己紹介。

2 教育長挨拶

本日はお忙しい中また、お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。先ほど代表の方に、委嘱状を交付させていただきました。任期は、形的には開校までということをお願いをしていきたいと思っておりますので、色々な立場で、色々な御意見を伺わせていただければ大変ありがたいと思っております。ここでは色々な地域の声も含めてどんどん出していただき、課題について共有させていただいて、できる限り良い方向で開校を迎えられたらと思っておりますので、よろしく申し上げます。

昨年度から10名の方が代わられたと言う事ですので、今日は少し今までの経緯も含めて御案内させていただければと思っております。昨年の最初の挨拶でも言わせていただ

きましたが、向陽学府一体校の地域説明会等々は、自分も関わらせていただいて、向陽地区には 10 回以上、いろんな説明会をさせていただいて今日に至っているということで、何と言うのか胸にくるものもあります。基本設計もコンセプトとして、日本一優しさが育つ学校の実現に向けてということで、ハード、ソフト、いろんな準備をする中で、開校を迎えたいと思いますので、繰り返しになりますが、それぞれ課題になっているところ、地域でこんな声があるというような所を出していただきながら、皆で共有して、解決策を探っていけたらなと思っております。

ながふじ学府が磐田市内では、まず、第 1 号の学府一体校で、令和 3 年にスタートし 3 年目となりました。向陽学府は磐田市内では第 2 号になりますが、学府一体校も、未来型、向上型、充実型という、三つの種類を考えておまして、ながふじ学府は、向上型学府一体校（B 型）に当たるものです。何が違うのかというと、今、一つの建屋に入っている学校は、豊田北部小学校と豊田中学校です。豊田東小学校は、もう一つ別のところで運営をしています。ただカリキュラムは同じもので、運営をしているという向上型学府一体校でスタートしたのが第 1 号です。向陽学府については、未来型学府一体校なので、小学校も中学校も一つの建物に入って、小中一貫教育、コミュニティ・スクールを進めて行くという形なので、学府一体校としては 2 番目ですが、内容的には第 1 号、1 番目という形になります。何が違うのかというと、昨年度の開校準備委員会から進めていただいているように、三つの小学校が新しく一つの小学校になりますので、校名をどうしようかということで、今、アンケートをさせていただいてるところです。それから今日は、校歌とか校章をどうしようかという話になりますが、これについては、ながふじ学府の方では、検討はしておりませんので、向陽学府一体校の中では、新たなテーマというか、課題に対してどうしていくかというところが、大きな違いになってきます。皆さまの御意見いただきながら、できるだけ皆さまの総意で、いろんなところを決めていけるといいかなと思いますし、今、学校を中心にカリキュラム、PTAの方々を中心に通学路やPTA組織等も検討して頂いておりますが、そんなことも同時進行しながら、令和 8 年度を迎えれるといいなと思います。ぜひ、この場では、御意見をいただきながら、より良い開校に向けて、進めていけたらなと思います。ぜひ、皆さんのお力を貸していただきながら、スタートできるように、どうぞよろしく願いいたします。

3 議事

(委員長)

開校準備スケジュールと進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料を基に進捗状況について説明。

令和 4 年 10 月 31 日に第 1 回開校準備委員会を開催。開校準備のスケジュール、校名の選定方法について説明し、意見を伺いました。令和 4 年 11 月 24 日、第 2 回開校準備

委員会では、校名と学府一体校の形態についての確認、校名の選定方法、校名決定のスケジュールについて意見を伺いました。令和5年1月30日、第3回開校準備委員会では、他市町の事例、アンケート調査と、公募要領について意見を伺い、委員の皆様から、向陽小がふさわしいと思うが、地域住民や小中学生からは、意見を聞いたほうがいいのではないかという意見があったため、アンケート調査を行う方向に話がまとまりました。令和5年3月20日の第4回開校準備委員会では、校名に関するアンケートの様式について協議をしました。アンケートの配布、回答方法、回収方法等について、小学生の対象についても協議がされました。4月に入り、これまでの意見を踏まえて、アンケートを作成、準備委員の皆様承認を得て、アンケートを5月10日に自治会長へ配布し、現在アンケートに回答していただいています。

今後の予定ですが、6月にアンケートを集約、結果をまとめ、9月の第7回開校準備委員会で皆様に、校名案について協議決定をしていただく予定です。第8回開校準備委員会では、校名案の要望書の検討をして、教育長へ要望書の提出をし、教育委員会の承認を得て、2月議会での条例改正議決により、校名が最終決定となります。

今年は、これから皆さんに意見を伺い、校歌・校章についてどのように進めていくかを検討していただき、7月の準備委員会で、おおよその校歌・校章の方向性が決定できるように、御協力をお願いします。

開校準備の大まかなスケジュールについて、開校準備委員会は年6回開催する予定ですが、進捗状況によって増減する場合があります。校名、校章・校歌については協議いただいているところで、令和6年度末には、校歌や校章を完成させたいと考えています。通学路に関することについても、現在進めているところですが、横断歩道や信号機の新設、移設といった規制要望については、今年度中にとりまとめ、県に提出をしていきます。PTAについては、学校と保護者が主体となり検討をしていき、規約や組織については、令和6年度中に決定して、令和7年度には役員を選考していく予定です。式典行事に関しては、地域、学校・市教委が連携しながら進めていきます。スクールバスの運行計画については、今年度から協議を進めていく予定です。制服体育衣料については、学校や保護者が進めていきます。学校運営に関することについては、現在、学校が既に進めています。地域連携室や福祉交流支援室の運用に関することは、来年度の協議内容となります。建設検討会での課題の検討状況は、進捗があれば、この場で報告をさせていただきたいと考えています。

(委員長)

初めて委員になられた方にとっては、突然いろんなことをこれからやるよと言われて、よく分からない部分もあるかもしれません。ぜひこの場で、分からないところ、遠慮なく言っていただいて、一つ一つ前に進めていきたいと思えます。ながふじ学府では校名、校章、校歌だとか式典だとか、PTA、スクールバス、そういうのを検討しなくてもできてしまった。向陽学府は、やることが一杯あるんです。ぜひ皆さんの知恵をお貸しいただき

たいと思います。今の説明、スケジュールにつきまして、何か、質問あるいは、意見がありましたら遠慮なく出していただきたい。どうでしょう。

(委員)

特に開校準備というようなことで、もう、特化して進めていくわけですが、全体のスケジュールの中で、特に建設準備のところ、建設検討会のほうで検討されてきたと思うが、今年度はこういうふうに進んでいくとか、計画の段階でも、その辺の動きというのか、計画ないし検討状況について、駐車場等関心がありますので、出来れば現場のほうの動きの前にこちらのほうに、特に地区長関係は、各自治会へも伝えるべきことがあれば、伝えていったほうがいいのではと思っていますので、是非こういう機会に話せることを話していただきたいと思います。

(事務局)

建設検討会で課題として挙げられていた、駐車場であるとか、あと避難所の関係につきましては、現在も協議の方をしております。特に駐車場については、実際問題どうなんだというのはいろんな地区から声も上がっていますので、引き続き協議の方はしていきます。それから、避難所の関係ですが、今年、危機管理課のほうで、去年までの地域づくり応援課の一つの部署が危機管理課と一緒にしたこと、少しずつ進んでおりますので、そこに教育委員会も一緒に打合せ等に入りながら、進捗が分かりましたら、説明できるところはしていきたいと考えています。

(委員長)

今年度、向陽中学校関係で9億円ぐらい予算を用いて、仮設校舎1棟や校舎を解体したりとか、いわゆる本格工事に入る前の事業が始まる。その辺のところ、皆さん御存じないかもしれませんが、説明してもらった方がいいかなと思います。

(事務局)

基本設計のかわら版にも、スケジュールを書かせてもらっていますが、今年度、今お話にあったように、先行工事という形で、仮設校舎を整備したり、設備関係で浄化槽だとか、受水槽、キュービクルとか、そういったところも、前段階の工事ということで、取り掛かっていく予定です。その辺が整い次第、仮設校舎のほうに、向陽中学校の引っ越しをしてもらい、新しい校舎を建設する予定地にある校舎の解体工事を、今年度後半から来年度前半にかけて行っていきます。その後、新校舎等の建設工事、あとは、体育館や武道場等の既存施設の改修を行う予定です。その工事自体は、令和6年度、7年度の2カ年にかけて施工していきます。8年度の開校後に、今使っている北校舎だとか、仮設校舎と駐車場の所の外構とかも含めて整備して、1通りの整備を完了させるという予定でいます。あと、今年度の工事として、道路挟んで南側の交番がある所のテニスコートについて、夏休み頃から、工事に入らせてもらい、テニスコート3面はそのまま維持する形で、駐車場を整備する予定です。

(委員長)

そのほか何かありましたらお願いします。ないようでしたら、スケジュールはこの辺にしまして、校歌と校章の方に入っていきたいと思います。事務局、説明をお願いします。
(事務局)

資料に基づき説明。

校歌・校章の方向性について、作成の根拠ですが、校歌・校章の作成は、学校の設置要件ではなく、根拠法令もありません。ただ、児童生徒や保護者の帰属意識や連帯感を高めることなど、学校を象徴するものとして、ほとんどの学校で作成をしています。作成の時期については、開校前、開校後、それぞれの事例があります。開校前に作成する場合は、教育委員会が最終的な決定者となりますけども、開校後の場合は、学校が主体となり、地域や保護者と共同して、作成決定している事例が多くなります。また中学校では、生徒会が主体となっているところもあります。作成に当たっての検討項目については、作成時期や具体的な作成方法になるかと思います。皆様には、この2点について協議いただきます。校歌・校章ともに、いろいろな作成方法があるので、それぞれについて意見を伺いたいと思っています。参考までに、作成方法によるメリット、デメリットについて、スケジュール案については、仮に、それぞれの案で作成する場合ですので皆さんの話合いの内容によって、変わってくるようになります。例えば、校歌の作詞を、公募や児童生徒、地域へのアンケート。作曲を委託した場合、令和5年度中には歌詞を最終決定して、令和6年4月から5月に契約事務手続をした後、最長で令和7年9月頃までに、校歌を完成させたいと思います。校章が公募の場合ですけども、来年の5月に校章の公募をして、7月から9月にこの準備委員会で選定会議を行って、10月には案を決定し、その後デザイン化をして令和7年の3月までには完成というようなスケジュールになるのではと思っています。どうやって作成していくかというところで、このスケジュールの組み方も変わってきます。

浜松市の事例。校章については、公募。庄内学園、中部学園ともに、小中で一つの校章としています。校歌については両学園とも委託。いずれも、それぞれの地元出身の方に依頼をしています。庄内学園は、愛唱歌として、1曲、舘山寺出身の佐藤賢太郎さんに作詞作曲をお願いしています。中部学園については、愛唱歌と校歌の2曲。中学はもともと中部中学校があるので、その校歌を歌うということです。この校歌と愛唱歌の2曲とも、作詞が田辺一邑（いちゆう）さんという、講談師として活躍している方です。作曲の伊藤康英さんはプロの作曲家として活躍をされている方で、母校のことならこのことで作ったとのこと。それぞれの校章について、中部学園のほうは黒一色で、庄内学園のほうはちょっと色がついている。どちらも公募して、デザイン化をお願いしてこういう形になったとのこと。今の校章は、色もついたりしています。ちなみに今の向陽学府については、向笠小と岩田小については、開校が同じぐらいだったこともあり、磐田市内の、小学校は大体こういう外枠が同じような形をしていて、中がそれぞれの小学校の名前が分かるようなものになっています。大藤小は、それよりも少し後に出来ましたので、色もついて、

二つの学校とはちょっと違ったようなイメージとなっています。さらに向陽中についても、形からして丸じゃなく、向陽という漢字が伸びて下から支えて、中に中学というふう
に書いてあるような校章ということになっています。事務局としては向陽中の校章はそ
のまま残しながら、3校の小学校が一つになった新しい小学校の校章をどうするかとい
うことを考えていただきたいと考えています。他市町の例というところで、校歌につい
ては、それぞれの学校で、決め方というか作成の仕方がいろいろあります。1例として、作
詞作曲共に、学校というところもあります。歌詞は公募しながら、曲は初代校長先生が作
ったりとか、校歌で残したい言葉を見童生徒にアンケートをとって、その意見を踏まえて、
作詞作曲をしてもらおうとか、作詞は公募や学校で作曲は委託するとか、作詞作曲ともに委
託をするとか、中には、市内の音楽の先生を全員集めて、そこで、校歌を作ったなんてい
う市町もあります。これでなければいけないという決め方はないので、皆様から意見を伺
いたいと思っています。校章については、ほとんどが公募です。ただその対象をどうする
かというところで、児童生徒だけというところから、保護者、地域、教員から募集をする
とか、市内全域から募集をするとか、いろいろだったので、こちらのほうも意見を伺いた
いと思います。

向陽学府それぞれの校歌について、歌詞を見ながら聞いていただきたいと思います。
(各校の校歌を流し聞いていただく)。

(委員長)

校歌・校章の作成の方向性についてということで、簡単にはどうやって決めていきま
しょうかということです。どんなことでもいいので、この件について発言をお願いします。

(委員)

先ほどの説明で校章のほうが中学校は決まって、三校が一つになった新しい小学校を
どうするかとの話だったのですが、ちょっと聞きたいんですけれども、二つある必要があ
るのか。学府として一つでいいのでは。

(委員長)

別にそういう決まりはない。一つの建物内にあるけど、学校は二つある。小学校と中学
校。浜松市の庄内学園は1つの校歌となっているが、決まりはない。

(委員)

せっかく学府ということなんで、一つに絞ったほうがいいかなと思います。

(委員長)

向陽中学校も、一つにするということですか。

(委員)

小学校と中学校と分かれているという話がありましたが、例えば、一つの学校の名前で
出来ていますし、あえて小学校と中学校と分ける必要があるのかなと思います。

(委員長)

向陽中学校は向陽中学校で、小学校は新しい校名を、今アンケートをとっている。一つ

ではなく学校は二つあるんです。

(委員)

私も一体感ってということから考えると、できる限り似通ったほうがいいかなと思って
いる。校章を見ると、先ほど事務局が言ったように、向陽中は向陽と書いて、その中に中
学ってあるんですね。それを小学と変えればどうかなと思いました。一つではないので一
つには出来ないんじゃないかなと思います。これに著作権みたいなものがあると難しい
かもしれないが、校章の方はそのように思いました。資料からは、校章・校歌があっても
なくてもいいような感じがしたんですが、せっかく未来型で3校が一体となるのだから、
校章・校歌は、あってしかるべきかなというふうに思っていて、専門家の方か、教職員の方、
児童生徒が入ってもらって、その中で良い作品が作れたらどうかなと感じています。

(委員長)

今の意見は、もう向陽小になるという前提での話でしたが、まだ決まってません。

(委員)

過去の経緯が余りよく分からない中で、思いだけは発言させていただきたいと思いま
す。先ほど教育長さんとか事務局の方からお話があって、ながふじ学府は一つの建物に二
つの学校が入っただけだが、向陽学府は未来型一体校でやってくということ、そうなる
と、今までの会議の方にちょっと失礼かもしれないんですけど、なぜ小中一貫校で、一つ
の建物の中に9学年入るという考えでいかなかったのか。そうすれば、校歌も一つ、校
章も一つ、もし変えるとすれば、先ほどの意見のように小と中のところを変えるぐらいで
いいのではと思っています。決め方についてはある程度公募をかけるべきだと思います。
有識者に任せるのもいいが、やはりこれから地域に親しんでいただかないといけないの
で地域の人たちに公募をして、地域として新しい学校を支えていくんだよというイメー
ジづくりのためにも、作曲はちょっと大変かもしれないんですけども、せめて歌詞と校章
だけは公募したほうがいいのではないかと思います。すいませんちょっと前段のほうは
苦言みたいな形で思いだけ言わせていただきました。

(委員)

私は今の意見には反対です。一体校か一貫校かという話はやめましょう。もし一貫校に
するのなら最初から向陽学園とかという名前に違う小学校も一緒にしてやればまたいい
んだけど、もとに戻ってしまうので、取りあえず、向陽中学校と〇〇小学校という格好で
話を進めさせてもらえないかなと思っています。前回校名について意見を聞くとのこと
で、回覧を回してアンケートをしてるんです。そこに至るまでに、先ほど事務局から説明
があったように、協議を重ね案を出して、議会の承認も必要、アンケートもとらなければ
いけないというところまで進んできた。校歌・校章についてはそういう足かせはないとのこ
となので、私の思いだけで言うと、お金もかかるんで、委託するというのもいいんだけど、
例えばトップデザイナーに作ってもらおうとか、有名人にお願いするのもそうですし、専門
家に頼むというのもいいのでは。また、1番が大藤小で、2番が向笠小を使って、3番を

岩田小にして、曲は中学校にアレンジを頼むとか、そのぐらいでもいいかなと思ってるんですけど、代々残る、重要な時に歌う歌を、そんないい加減に作っていいのかって言われそうなんですけど、個人的にはそれでもいいんじゃないかなと思っています。作詞・作曲した方には思いがすごくあるんですけど、私が卒業した岩田小の校歌に、東の海に日がのぼるっていう歌詞があるが、小学校から東に海はない。だからそのぐらい独創的というか、意味がないんだなと思ってるので、委員長の知ってる方にちょっと曲作ってくれないかというふうなお願いをすとかでいいのでは。余り公募して、色々とやるよりも、身近なところで、校長先生の詩に、音楽の先生が曲つけてもらうような形で、小学校の校歌作ればいいんじゃないかな。半分ふざけたみたいなのも言ってしまいましたが、思いとしては、もっと簡単に、作詞・作曲不詳でもいいんじゃないかなと思っています。

(委員長)

今の意見の冒頭、足かせがないというのは、校名は市議会で議決を経て正式に法的に決定となる。だが、校章・校歌を決めるのにはそういう足かせがない。そういう事だから、皆のアイデアとか考えとかやり方を、総意でもってこうしようねってことであれば、できるよということです。それをちょっとつけ加えさせていただき、その他、遠慮なく言ってください。今日は何か決めませんのでね。決まっちゃえばいいかもしれないけど、そんな簡単にはいかないと思います。

(委員)

個人的な意見ですが、小中一体ということなんで、その中に小学校、中学校が1個ずつあるよっていう話ではあるんですけど、校章・校歌がなきゃいけないっていうものじゃないんで、別にそこは小中分けて1個ずつ、わざわざ作らなくても、学府としての校章・校歌っていうのを、1個ずつあれば、作成根拠として、その一体感とかそういうを出すのであれば、一つに絞ったほうが、いいんじゃないかなと感じています。校歌についてなんですけど、公募で、全部やるっていうよりは、出身者の方達に、こんな言葉を入れてほしいとか、この節を残してもらいたいみたいなのを、公募でもらって、それを地元の作曲の方とかそういう方に委託するというやり方でやったらどうかなっていうのが、僕の個人的な意見です。

(委員長)

小中別々なんだけど一つ。先ほどの話、誤解していたかもしれないけど、何かつながるような話があったが。

(委員)

自分は、小学校中学校が分かれてるっていう感覚がなかったから、今の意見とか聞いて、学府っていうところと、あと本当かどうかわかんないですけど例えば中学校の子が、小学生の面倒見るとかですね、そういうような学校になってくっていう話を聞いていたんで、そういうことであれば、例え小学校と中学校で分かれているという話であったとしても、それをあえて二つに分ける必要性がないとは思うんです。学府として小学校、中学校関係

なく、一つの校章があったり、校歌があったりっていうところでいいんじゃないかなあと。ついでに言うと、校歌は、向陽中の校歌をそのまま使っていただければ、結局みんなの共通の校歌になりますし、確かに未来型っていう話でありますけれども、今まで、卒業していった人達もいますので、そういうことを考えると一つの伝統っていうところで、あえて新しいのに変えるだけではなくて、残しておくべきものは残すっていうのもいいんじゃないかなと思います。

(委員)

いや、向陽中学は残るんですよ。

(委員)

学府として、改めて再スタートっていう形なんですけれども、もともと向陽中があったよっていうところで、いいんじゃないですか。

(委員長)

それも意見。どなたかどうぞ、ぜひ発言をお願いします。遠慮なく言ってください。それぞれに小中1校ずつできるから、校章・校歌、向陽中はもともとあるもの、小学校は新しく出来た学校の校章・校歌っていうのと、せっかく一つになるんだから、何か両方一緒にしたようなデザインをした、一体校の校章みたいな。そういうのもあるんじゃないかという意見が出てる。あと、どうやって決めるかというのは公募もあるし、ある方に作ってもらうということもあるし、ポイントとなるような言葉を選びだして、みんなから意見を聞いて、共通する言葉を校歌の中に入れちゃうとかね。校章と校歌ぐちゃぐちゃになってますけれど、どっちのことでいいですので、出していただきたいと思います。いずれは一つの方向に、向かっていかなきゃいけないんですが、いろんな考えは分かっていますので。

(委員)

カリキュラム的には、2・4・2とか、小中一体、一貫みたいな、流れがあると思うんですけど、途中、小学校1年生から6年生のところで、卒業式っていうのはありますよね。そして中学にまた入学、だったらやはり僕は二つ欲しいなと思っているんですが、それがずっと一緒だったら、また戻っちゃうんですけど、名前を、向陽学府もやめて、向陽学園ってさっきの庄内学園じゃないですけど、そういう名前だったら1個の校章・校歌でいいのかなと思ってるんですけど、この話には今は戻れないので、皆さんと話し合いで、一つでという方向もあるのかなと思います。

(委員)

校歌をよく聞かせていただきまして、向陽中の校歌の中に1番の最後、「まこと」をもとと歌ってますけど、漢字は「至誠」って校訓が入っています。多分、岩田小、向笠小、大藤小もそれぞれそういうもの、キーワード的なものが入ってはいるんだろうなという気がします。先ほどから話している、決め方と、いつ頃までに誰にとというスケジュールについて、まず、校名が何になるかによって違ってくるかなという感じもします。例えば向陽小になれば、向陽中と、内容的にもそんなに変わらないので、どういう決め方をしてもい

いなと思うんですけど、違う校名になった場合は変わってくるかなと思う。あと、校訓など小学校の狙いみたいなものが入ってはいると思うんです。先ほど、校長が決めるという話があったが、センスがある人じゃないと難しい。作曲も音楽の先生がずっといけば、じっくり考えてもらいますけど、異動もあるので、先ほどあった意見のように、フレーズとか言葉で欲しいものは公募して、あとは専門家に決めてもらうのがいいような気がしています。色々な決め方ありますけど、先ほど委員長が言われたように、他にも決めることがいっぱいあると思うんで、教員のほうもこれにかかりつきりにはなれない気がします。先々まで残るものという事も考えて決めていくほうがいいと思いました。あと、幼稚園の方々の意見もこれから通うのであれば歌うことになるので聞いたらどうかという思いもあります。

(委員)

私も校歌・校章があったら、ここでは検討するようにはなっていないが、校訓も一緒に検討すべきかなって感じております。

(委員長)

校訓は、学校が勝手に作るようなものじゃなく、地域の中の学校ということで、地域の方の声を聞いた上で定めることが今は一般的です。やはり校章も校歌も一緒のようないところがあります。

(委員)

先ほど意見と、自分もかなり同じところがあります。ただその中で一つ気になるという心配だなと思ってることは、公募する良さと、公募する難しさがあると思う。新しい小学校ができるんだというそういう思いでフレーズを選んで、言葉を考えて応募してくる方もいるだろうし、自分の出身の小学校への思いを載せて応募をしてくるような方もいると思う。そうすると、やはり3校に寄せるそれぞれの思いがあったり、新しい学校ができるという思いがあったり、そういうものがたくさん集まって、それを一つの校歌等にしていくという難しさがあるのかなと思います。今はっきりと自分がこうしたらいいという思いはないんですけども、色々なやり方がある中でメリット、デメリットというのはあるなというふうに感じています。

(委員)

歌詞のことで、向陽中は至誠という校訓が入ってるってことですが、小学校のほうは、向笠は誠実という言葉が入っているのですが、大藤と岩田小は校訓につながるような言葉が入っていない。また、音楽の教員が携わればっていう御意見もあったんですが、今教員にはカリキュラムの検討にエネルギーを注いでいる状況。昨年、下田の新しく出来た学校について聞いたところ、子供たちからどういう言葉を入れてもらいたいかというのを募って、プロの作曲家にお願いしたところ、実際にその土地を訪れて、どんな環境かということを見ながら作曲していったという話を伺いました。なかなか好きなフレーズを使ってというと、各校それぞれ全然違うもんですから難しいなと思う。各校の作曲した

方々は、何十年も前の時代の作曲の方なので、今子供たちに親しむというと、また違う曲ができるのではと感じています。

(委員)

自分もこの内容に携わしていただきながら、一体校でありながら、二つの学校が入ってるっていう認識で進めておりますので、向陽中はそのまま残していく。そして、新しい小学校のほうは、先ほどから出てるように、入れたいフレーズや言葉などを公募しながら、専門家の方が仕上げていくのがいいのかなと思いついて聞いていました。校章についても、向陽中の形、そして、新しい小学校については、市内全域か。範囲を区切って公募というのがいいかなと思います。今年、磐田市と三島市に県立の夜間中学が立ち上がったときに、校歌は作ってないんですけど校章を公募して作りました。結局採用されたのは他県の方のものでした。ただし、中学校や高校と図工や美術の時間を使って、子供たちが、それに応募するというような参加型をやったところ、確か 500 とか 600 作品が来ました。子供たちや地域の方だけでなくプロまで来たんですね。謝礼についても本当に図書カードとかその程度だったんですけど、割と人が募ってきて、やっぱりプロの方については、静岡県ってどういうところなんだとか、どういう意図でつくるんだっていうことをリサーチしながら思いを込めて作ったっていうことがありました。なので、ある程度公募するところでも、そういった思いを酌みながら、良い作品は来ました。新しい小学校ということであれば、この三つの学校の歴史等々あるとは思いますが、公募でもいいのかなというふうに個人的には思っております。

(委員長)

今日は何かをまとめるという事よりも、今日のこの話題について皆さんがどう思われているか、どう感じているかというものをを出していただくということで進めさせてもらった。そんな簡単には決められないので、ぜひ色々吐き出していただいて、そういう中で共通点を見いだしながら、こんな方向に進んでいこうかというふうにしていきたい。

参考に、向陽中学校という名前を昭和 28 年の頃に、向笠と大藤と、袋井の今井地区の 3 地区に公募したところ、357 点だったと思うが住民から案が出て、地域の代表が今の向陽という名前に決めたという経緯が書物で残っている。公募というのはやり方次第で、いろいろあり、本来の趣旨を失わないようなやり方をしないといけない。一般の人に聞くわけだから今回の校名アンケートの方も、議論の時間を費やして、現在、アンケートをやっている。

(委員)

ぜひ、今風の歌にしていきたい。

(委員長)

議事とは違うが、私が思ってることで、この会議をながふじ学府一体校で出来ないかと。やはり同じではないですが、当然似た主旨で出来た学校ですので、一度ハードを見るというのも意味があるんじゃないかなと思います。そういう中でまたこの議論をしてい

くのもいいかと思います。議題ではなく、提案ですが、事務局の方で検討をお願いします。
(事務局)

校歌・校章について、伊豆の長井崎小中一貫校という所で、本日意見として出た、中学校のものをそのまま使うという決め方をしています。調べたところ、そこではこういう話し合いがなく、事務局のほうで、多分決めたようです。そこは何年か前に中学校が統合して、一つの長井崎中学校となり、そこで校歌・校章を新しく作った。そのあと、小学校が幾つか統合して、小中一貫校になった。そのときに、校章は、中の上に小を付けただけで、それが校章になっています。さらに校歌は9年間同じ歌を歌うということで、もともとあった長井崎中学校の校歌を、小学校、小中一貫校の校歌にしています。その学校は磐田市が進めている、小学校中学校併設型の小中一貫校なのですが、そういった学校もあるということです。ただそこは校長先生が1人、いうところが、この磐田市と違うところです。さらに浜松市ですが、先ほど中部学園と、庄内学園の話だけ出しましたが、実は浜松にあともう1校、小中一貫の施設一体型の引佐北部小中学校があります。これは、校章・校歌も、それぞれ、小学校、中学校別々にあるような学校ですので、浜松だからといって全部同じような形というわけではありません。委員長がおっしゃったように、決め方についても色々なことが考えられますので、皆さんの思いを、この準備委員会で言っていただければ、そして、いい方向に向かっていければいいかなと思います。

4 連絡事項

(事務局)

今回は7月中旬以降、7月中の開催を予定。決まり次第、開催通知を送付。

準備委員会が終わると、開校準備だよりを発行します。今後、開校が近くなってくると、準備委員会が終わって出すというよりも、その他のことについても、随時出していかなければいけないと感じています。